



早咲き種「春めき」

桜の香りで卒業生送る

南足柄の
古屋さん 初めて盲学校に寄贈

元南足柄市の幹部職「た早咲き桜・春めきを」業生を送る桜として、
員の古屋富雄さんが近 県立平塚盲学校（平塚 京都市や大分市などの
く、自らが品種登録し 市追分）に贈る。「卒 小中学校に春めきを贈
る取り組みを続ける
中、盲学校は今回が初
めて。

寄贈のきっかけは、
秦野市在住の視覚障害
者が5年前、狩川沿い
に101本の春めきが
植えられている「春木
径・幸せ道」（南足柄
市中沼、狩野）を訪れ
たこと。この男性は初
めて体験した春めきの

古屋さん（右）は、平
塚盲学校に贈る春め
きを河野太郎衆院議
員秘書の嶋津眞悟さ
んに受け渡した（21
日撮影）

香りに魅力され、自宅
の庭に植えたいと、古
屋さんに提供を依頼し
た。

感激して苗木を受け
取る様子から古屋さん
には、目の不自由な人
たちが通う学校や施設
に贈る構想が浮かんだ。
ひと足早く、花の
香りで春を楽しんでも
らいたいという思いを
温めていた。

春めきは、一般的な
桜（メイヨシノなど）
と違って独特の良い香
りがあり、視覚に障害
を持つ人たちは目で見
ることは難しくとも、
香りの面で花を楽しめ
る。ちょうど卒業シー
ズに開花することか
ら、学校から巣立つ生
徒たちへの贈り物とし
ても最適。

平塚盲学校への寄贈
は、親交のある牧島功
県議を通して実現。平

塚市を含む神奈川15区
選出の河野太郎衆院議
員、南足柄市など17区
選出の牧島かれん衆院
議員も仲介に入った。

今回贈った春めきは
8本。このうち樹齢5
年の1本は今春にも花
を付ける。贈呈式は2
月2日の予定で、校庭
などに植栽される。